

木上小だより

始業式での話（自分を磨こう）

- 我慢する心をもとう
- 思いやりの心をもとう
- 挑戦する心をもとう

第3号 平成30年6月発行

やさしい言葉と笑顔で

◇熊本県では6月を「心の絆を深める月間」として、いじめ根絶への取組を進めています。木上小学校では、人権標語や学級での人権宣言を考えたり、各学級で人権学習を行ったりしています。

その取組の一環として、全校集会を行い、子どもたちに話をしました。今回は「和顔愛語」（「わけんあいご」と読みます）という言葉について話しました。「和顔」とは和やかな顔ということで、「優しい表情や笑顔で」ということになると思います。「愛語」は文字通り、「愛情のある言葉、言い換えれば優しい言葉」ということです。

いじめは、冷たい言葉や乱暴な言葉から始まります。先日、県北の高校生がいじめを苦にして自殺したという事案が発生しましたが、そこでも相手を傷つけるような言葉がきっかけとなっていました。子どもたちは、テレビを始め多くのメディアからたくさんの言葉を学んでいます。それを食い止めることはできませんが、学校では、人を傷つける言葉や、場にふさわしくない言葉については、気づいたその時々で指導を繰り返しているところです。地域やご家庭でも、人を傷つけたり、乱暴な言い方をしたときは、ご指導いただきまして、温かい思いやりのある言葉でやりとりできるように育てていければと思っています。



登下校の見守りを

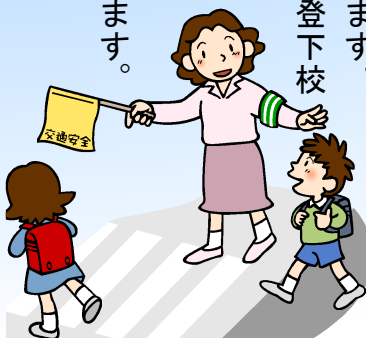
お願いします

先月七日に新潟で小学二年生の女子児童が、下校途中に連れ去られ殺害されるという悲しい事案が発生しました。子どもたちと日々過ごす私たちにとって、とても他人事とは思えないできごとでした。

先日開かれた、錦町の防災会議の場でも、この事案を受けて子どもたちの登下校の見守りについて話し合われました。そこでは、今後いろいろな団体に見守りの協力をお願いしていくとのことでした。

その一環として、最近インターネットでは、子どもたちの下校時刻を知らせる放送が流されています。もし、放送をお聞きになりましたら、庭の花の手入れでも、散歩でも、畑仕事でも構いません。家の中や家の外、畑や庭から、子どもたちの下校を見守っていただければ助かります。

子どもたちが安全に登下校できますよう、できる範囲で構いませんので、皆様のご協力をよろしくお願いします。



木上小スナップ



6月13日(水)に水害を想定しての避難訓練を行いました。各学級で、大雨が降ったときどんなことに注意が必要か、どんな災害が起きる危険があるか等の学習を行いました。その後、各学級ごとに体育館に移動し、全体で注意事項を確認した後、一斉下校を行いました。梅雨に入り、いつ大雨が降ってもおかしくない時期になりました。安全に留意して過ごしたいものです。

本校では、毎週木曜日の朝と月に1度掃除の時間を利用してボランティア活動を行っています。天気の良い日は校庭の草取りを行い、雨の時は室内を掃除したり片付けを行ったりしています。ボランティア委員の呼びかけで、全校児童で取り組んでいます。この活動を通して、学校や地域のために尽くすことができるような心を育てることができればと思っています。



木上小で子どもたちに大事にしてほしいと示している3つの行いは、次のものです。

- あいさつをする
- 時間を守る
- 掃除をがんばる

あいさつは人との交わりの第1歩です。時間を守らなければ人に迷惑をかけます。掃除を頑張れる人は真面目な人です。どれも、大切なことであり、生きる力に必要な要素であると考えています。

親子美化作業お世話になりました

去る六月十七日に、親子での

美化作業が行われました。朝早くから子どもたちと一緒にたくさんの方々に協力をしていただきました。

例年、美化作業はこの時期と八月に行っておりまして、六月は雨も多いことから室内の清掃をお願いしています。当日は、窓や床など校内の隅々まできれいに清掃をしていただきました。

毎日、子どもたちと掃除をしているのですが、なかなか行き届かないところもありました。しかし、今回の作業で本当に美しくなりました。これで、きれいな環境で勉強ができます。

ご協力いただきました保護者の皆様、本当にありがとうございました。